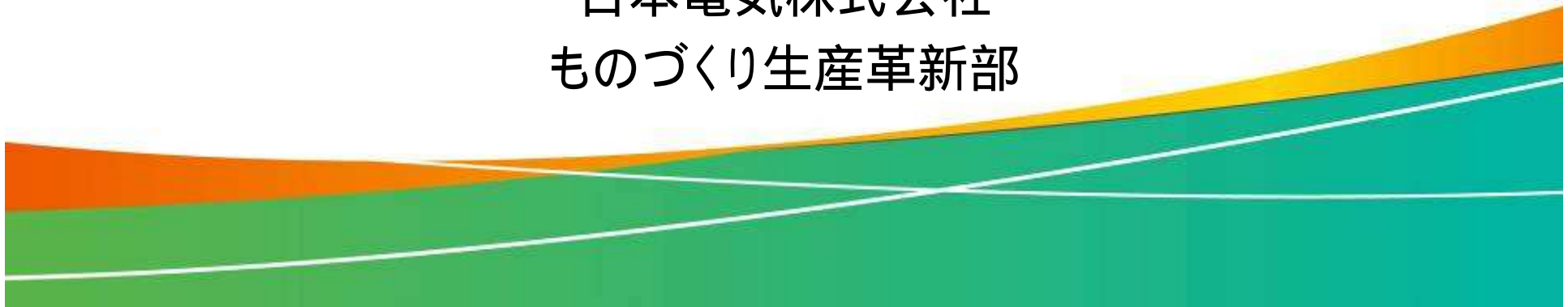


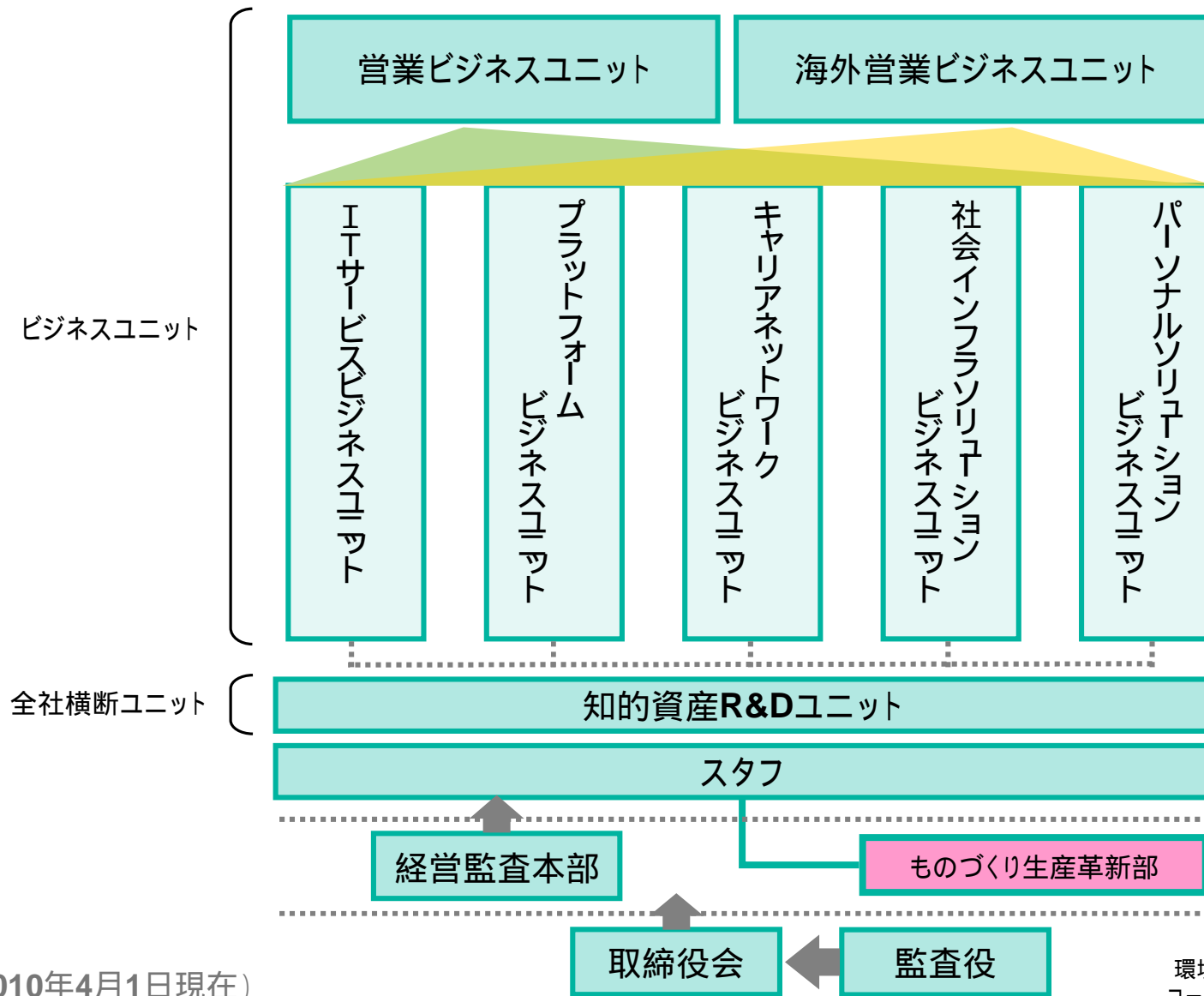
RISEへの期待

2011年2月25日

日本電気株式会社
ものづくり生産革新部



NECグループ体制



(2010年4月1日現在)

環境・エネルギー事業本部は
コーポレート直下に設置

NECグループ全社部品標準化活動の方針

部品の標準化には、下記3つの要件を確立させることが必須

運用体制
コードマネジメント
部品情報システム



積セラで全社部品標準化を試行し、上記の3要件を確立

Step 1

見える化
(部品とサプライヤ
状況分析)

Step 2

標準部品の
部品仕様決定

Step 3

標準部品価格
決定
全社購入仕様
書作成

Step 4

運用体制整備
標準部品への
切替と
モニタリング

全社部品情報システムの運用開始

昨年10月より、電気電子部品の社内部品番号体系を統一、部品情報の一元管理を開始しました。

次の課題は他社セットメーカー様と同じ

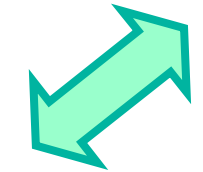
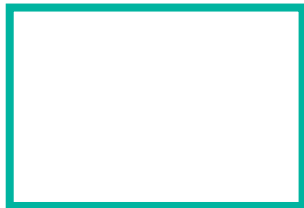
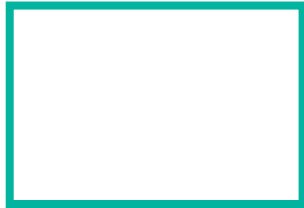
部品情報の収集と社内展開をもっと効率化したい



2011.2.23. 日刊工業新聞にて紹介記事

RISEへの期待、活用案1

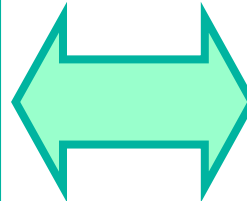
サプライヤ様各社



RISE



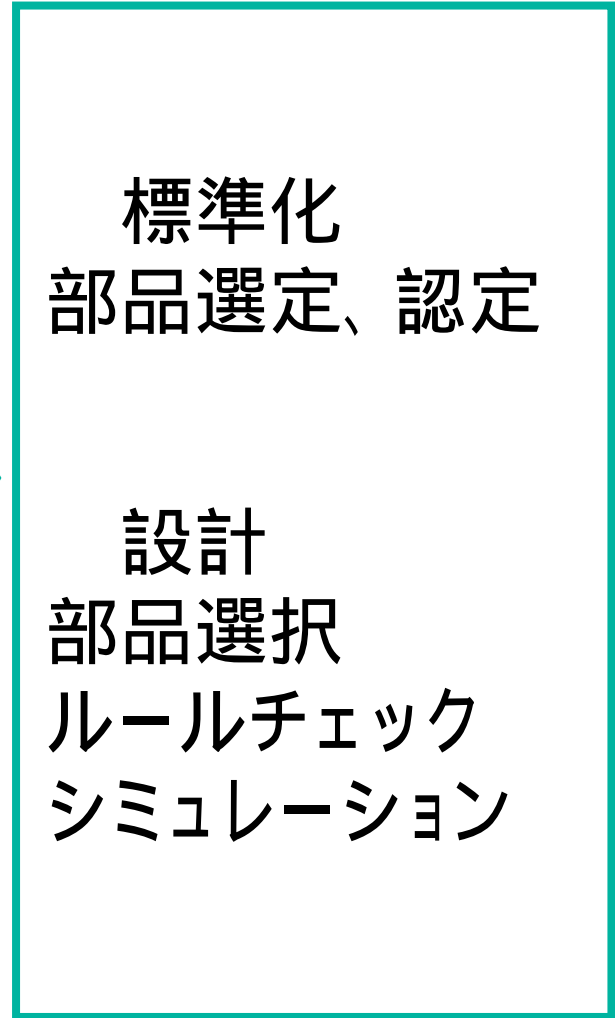
部品技術情報



スペックデータ
CADモデル

蓄積型が望ましい(過去の
情報もいつでも見られる)

NECグループ

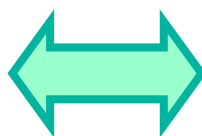
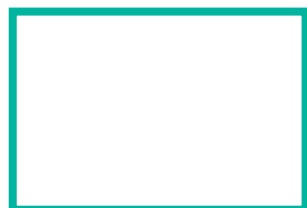
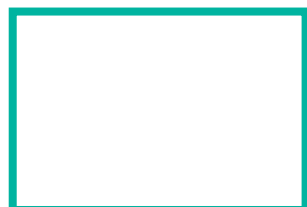
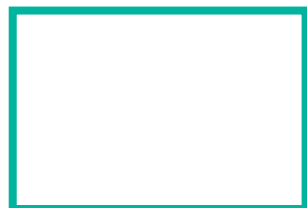


標準化
部品選定、認定

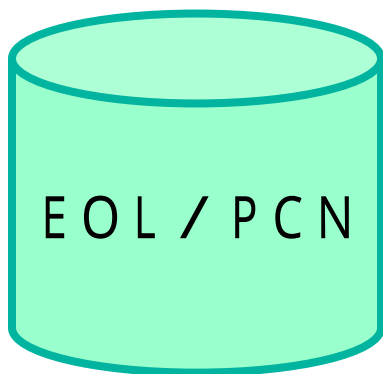
設計
部品選択
ルールチェック
シミュレーション

RISEへの期待、活用案2

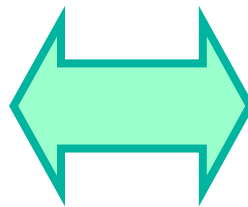
サプライヤ様各社



RISE



マッチング
テーブル



NECグループ

- ・通知社内展開
- ・代替品、
ラストバイ検討 /
回答

変更通知にNEC側部品
番号を付与

人と地球にやさしい情報社会を
イノベーションで実現する
グローバルリーディングカンパニー

NECグループビジョン2017

Empowered by Innovation

NEC